



第58号
令和元年8月号

安全・適正就業だより

☆☆☆☆ 事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな (全国統一スローガン)☆☆☆

巡回視察

7月1日、ミューズパーク草刈り作業現場を巡回しました。秩父B班、山口班長他12人の会員が就業していました。既に、駐車場周辺の垣根がきれいに剪定され、切った枝・葉が集められていました。ちょうど仕事が一段落した後の、休憩時間の巡回となりました。班員さんが一か所に集まり、なごやかな雰囲気の中で休憩していました。必要に応じて作業のミーティングなども話し合っているとのことでした。



時節柄、熱中症に注意することと、他の場所で小石が飛散し車のリアガラスを破損する事故があったばかりでもあり、十分注意して作業を行なうようお願いをしました。

←この車は、会員の木村さんの軽ワゴン車です。車内は、ネット張り関係、その他の用具がすき間なく積まれていました。

全シ協

安全就業ニュース2019年7月号より

令和元年度全シ協定時総会において、安全就業優秀・優良シルバー人材センター等の団体表彰が行われました。優秀シルバー人材センターとして表彰された4団体のうち、2団体の活動について報告します。

1 新潟県南魚沼シルバー人材センター

- 30年度末会員数 884名・契約金額 3億3,600万円(内、派遣事業9,300万円)
- 安全・適性就業について、「安全は全てに優先する」を合言葉に、パトロールや安全講習会を開催して事故0を目指して取り組んでいる。
- 日本でも有数の豪雪地帯であり、庭木を雪からも守るための「雪囲い」作業の依頼が秋口から多く寄せられる、また雪解けの春にはその囲いを外す作業が多くなっている関係上、事故発生割合からすると、この「雪囲い」作業時の事故が大きい。日々の対策としては、班長さんを中心とした作業前のミーティングの励行、安全対策会議や会員懇談会を通じてヒヤリハット体験の共有化などにより安全就業の徹底を図っている。

また、昨今のニュースで多く取り上げられている、高齢者の安全運転に関しては、運転業務に携わる全会員に、年一回の安全運転講習を義務付けるなど最重要課題として取り組んでいる。(この件に関しては、秩父市シルバー人材センター安全・適正就業員会でも検討しています)

2 石川県金沢市シルバー人材センター

- 30年度末会員数 2,003人・契約金額 5億4,357万9,032円
・派遣事業の契約金額 2億4,945万9,404円
- 定例の就業安全パトロール(回数は不明)に加え、毎月第2と第4木曜日を剪定・除草作業現場安全パトロールの日と定め、部員2名1組で実施することとした。平成30年度は計31回の安全パトロールを実施した。
- 運転業務従事会員を対象に、警察と協力して「高齢者ドライビングコンテスト」に参加する他、運転免許センターに出向き40人が運転講習会を実施した。その他、機械除草・植木剪定作業の安全対策として、KY活動研修会、就業をする場合は刈払機、搭乗式草刈り機、チェーンソー講習会の受講を義務づけた。冬季の交通安全、健康スポーツ講座なども実施した。
- 安全標語の募集・安全用具の使用奨励と点検整備の徹底など

※両センターは地域の実情を把握研究し、独自の講習会等を積極的に行っている。まずは、巡回視察を積極的に行い、現状をよく把握することが大切だと感じました。

熱中症予防について

こまめに水分を補給する(のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分・経口補給液などを補給する)ことが大切であると言われているが、何故**こまめ**になのか?・・・

「点滴補給」、一度に水分をとると尿となって出てしまう。点滴の様に少しずつこまめにとった方が体に吸収されやすいからよい。また、経口補給液は、水500リットル・塩1・2グラム・砂糖10~29グラムで出来るそうです。(ただし、テレビ情報です)



蜂にご注意ください・・・

会員さんから、「蜂が多いので注意するように」との一報がありました。蜂の巣は、草むらや垣根の中、建物の下などに多くあります。十分に注意して就業して下さい。



秩父市野坂町1-13-14

秩父市シルバー人材センター

電話 0494-22-4454

安全・適正就業委員会